

彦根東高校「学びの変革」の実践

滋賀県立彦根東高等学校

校長 青木靖夫

彦根東高等学校

求めよ普く 究めよ深く

生徒数 全日制 各学年 8クラス(960名)
定時制 4年生 1クラス(H28閉課程)

所在地 滋賀県彦根市金亀町(彦根城内)

歴史 創立140周年を迎える(明治9年創立)
スローガンは「挑戦、発見、実践」

校訓 赤鬼魂、文武両道、自主自律

特徴 進学校で部活動がさかん
運動部 野球、ハンドボール、陸上、ボート
文化部 新聞、囲碁、文芸、科学 などが活躍



彦根東高校の学修を支える3つの柱

授業改善(「学びの変革」推進プロジェクト)

昨年まで行ってきた授業力向上の取組に加え、アクティブラーニング(AL)を取り入れた授業の研究開発に取り組んでいる。また、電子黒板を普通教室に導入しICTを活用した授業の研究に取り組んでいる。

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

SSH指定最終年を迎え、理数教育の充実と課題研究の深化、国際化に対応した取組(国際交流、海外研修)の充実を図っている。また、学習評価の改善に向けてルーブリックとパフォーマンス評価の研究を進めている。

リーダーシッププロジェクト(LSP)

土曜授業を活用して、講演会やディスカッション、課題研究、海外でのプレゼンに向けた研修などを実施している。また、放課後に希望者を対象に図書館ゼミやスーパーディスカッションを実施している。

授業改善(「学びの変革」推進プロジェクト)

研究の方向性

- 育成すべき資質・能力の確認(コンピテンシー)
- 課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの実践(アクティブラーニング型授業)
- 学習評価の充実(ルーブリック、パフォーマンス評価)
- 県内高等学校への成果の普及

授業力向上

- 公開授業
- 授業研究(各教科3人一組による授業研究)
- 県内外高校との授業交流
- 授業向上アンケート(生徒の授業評価)

研究体制

- 研究主任
- プロジェクトチーム(AL,ICT)
- 全体研修
- 教育評価学習会(定期的に開催)
- 学力向上推進リーダー(各教科)
- コアティーチャー(県指定)

アクティブラーニング
(AL)の導入

電子黒板・タブレット
(ICT)の活用

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

- (1) 理数教育の充実 大学・研究機関との連携強化とカリキュラムの見直し
- (2) 課題研究の深化(SSクラス)と拡大(1年生全員)
- (3) 国際化に対応した取組(米国理数系高校との交流、海外研修)
- (4) 学習評価に関する研究(ルーブリック、パフォーマンス評価)

リーダーシッププロジェクト(LSP)

- (1) モチベーションプログラム
 - ・ 国内トップ大学や研究機関、企業などの講師による講演・授業の実施
 - ・ 社会問題や国際情勢などをテーマとしたディスカッションの実施
- (2) グローバルプログラム
 - ・ 海外でのプレゼンテーションに向けた研修の実施
 - ・ 英語でのコミュニケーション力をアップする講座の充実
- (3) チャレンジプログラム
 - ・ テーマを決めた課題研究の実施
 - ・ 大学や学術機関、企業と連携した事業の実施

国際化に対応した取組（海外研修など）

- アメリカ研修（本校実施 7月）
2年生 定員25名 → 23名参加
- アメリカMSSMとの交流（本校実施 来校1月、訪問3月）
2年生SSクラス 定員15名、来校時ボランティア50名で対応
- 台南大学付属高級中学との交流（年1～2回来校）
- グアム修学旅行（本校実施 11月）
2年生全員
- イギリス語学研修（県実施 7月～8月）
県内1・2年生 定員20名 → 本校から4名参加
- アメリカミシガン相互派遣事業（県実施 6月～7月、8月～9月）
県内1・2年生 定員14名 → 本校から1名参加

授業改善に向けた今後の課題

- ALの手法(グループワークやディスカッションなど)を取り入れるだけでは生徒の理解は深まらない。力量、経験に違いがある教員一人ひとりがALの意義を理解し、自己の授業観を見直し、授業を再構築していくことが重要。
- 知識伝達型の授業からの脱却が必要なことは理解しているが、大学受験に向けた指導を行わなければならないというジレンマが存在。
- プロジェクトチームによる研究推進は機動的で効果も出やすいが、全体に浸透させるためにはもう一工夫が必要。
- どうしても力量のある教員(キーパーソン)に仕事が偏ってしまう。仕事が増え続けることを防ぐために事業をスクラップする決断も必要。

教育の根幹（彦根東高校の教育がめざすもの）

教育

- 意図をもって働きかけ、望ましい姿に変化させ、価値を実現する活動

（広辞苑）

- 教育とは、人間という器を大きくする作業
- 器を枡にたとえるなら
 - 枡の縦は、人格
 - 枡の横は、学力
 - 枡の高さ、体験・経験
 - 枡の材は、身体・健康

